

めあて かくしゆうした ひらがなを かけるように しよう。

一 つぎの 五十音ひょうのうち 1 から 10 に あてはまる ひらがなを

+

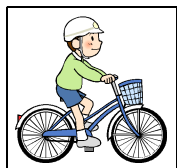
 に かきましよう。

ん	わ	ら	や	7	は	な	た	さ	か	あ
		り		み	ひ	に	ち	し	き	い
		9	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	2	1
		れ		め	へ	5	4	せ	け	え
	10	ろ	8	も	6	の	と	3	こ	お

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
<table border="1" style="width: 100%; height: 80px;"><tr><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td></tr></table>										

※つぎの ページにも もんだいが あります。

8



て
し

に

の

7



う
ゆ
う

を

の

6



か
り

を

た

5

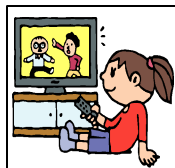


ん
ん

を

よ

4



て

を

み

3



む

を

つ

え
る

2



さ

を

す

1



う

を

う
た

おわりには「。」をかきましょう。
二つぎのえをみて、ぶんをかきましょう。ぶんの

めあて　かくしゆうした　ひらがなをつかって　いろいろな　ぶんをかこう。

めあて じゅんじよに 気を つけて 文しようを 読もう。

一 つぎの 文しようを 読んで、あとの 問題に こたえましよう。

花を よく 見て みましよう。

一つの 花のように 見えるのは、小さな

花の あつまりなのです。小さな 花を

数えて みたら、百八十も ありました。

これより 多い ものも、少ない ものも

あります。この 小さな 花に、みが

一つずつ できるよように なって います。

花が しばむと、みが そだって いきます。

みが じゆくすまで、花の くきは、ひくく

たおれて います。

みが じゆくして たねが できると、

くきは おき上がって、たかく のびます。

晴れた 日に、わた毛が ひらきます。

たかく のびた くきの 上の

わた毛には、風が よく あたります。

わた毛は、風に ふきとばされます。

かるくて ふわふわした わた毛は、

風に のって、とおくに 行く

ことが できます。



「たんぽぽ」ひらやま かずこ より(平成二十七年 東京書籍)

1 たんぽぽの わたげが とばされるまでの ようすに ついて、正しいものを

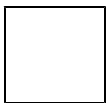
つぎの **ア**から **ウ**までの 中から えらび、きごうで こたえましよう。

ア 花が しばむと、くきは おき上がって、たかく のびます。

イ たねが できると、くきは おき上がって、たかく のびます。

ウ 花が さくと、くきは ひくく、たおれます。

※つぎの ページにも 問題が あります。



めあて 聞く人に わかりやすい じゅんじよで せつめいしよう。

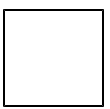
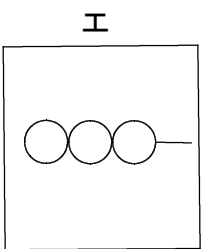
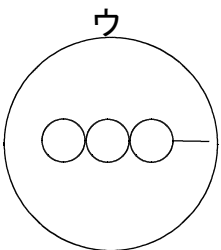
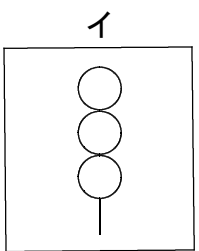
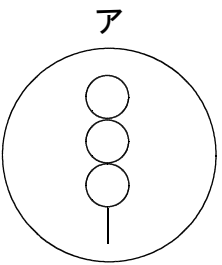
二 上田さんは、絵の かき方を つぎのように せつめい しました。 つぎの 文しようを 読んで、あとの 問題に こたえましよう。

くしだんごの 絵の かき方を せつめい します。
はじめに、さらを かきます。大きい 丸を かいて ください。
つぎに、だんごを かきます。大きい 丸の 中に、
小さい 丸を 三つ、たてに ならべて かいて ください。
さいごに、だんごに ささった くしを かきます。
上から 三つ目の 丸の 下に、みじかい たての
せんを かいて ください。
これで くしだんごの 絵の できあがりです。



「ことばで 絵を つたえよう」より（平成二十七年 東京書籍）

1 せつめいの とおりに 正しく 書いて いるのは どれですか。 つぎの アから エまでの 中から えらびましよう。



めあて 学習した 漢字を 読んだり 書いたり できる ように しよう。

三 つぎの —— 線部の 読み方を、ひらがなで

漢字の 正しい 書きましよう。

1 日曜日の 朝。

2 先生に 話す。

3 前に すすむ。

4 雪が ふる。

5 黄色の はた。

Blank lines for writing the hiragana answers for items 1-5.

四 つぎの —— 線部の カタカナを、漢字で 正しいに 書きましよう。

1 チカラを あわせる。

2 ソラを 見上げる。

3 タケを わる。

4 ミズを くむ。

5 ハヤシに 入る。

Blank lines for writing the katakana answers for items 1-5.

めあて 目的に応じて中心となる語や文をとらえて読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

道路のあちこちには、自動車や歩行者におけた道路ひょうしきや点字ブロックなどがあります。どれも、みんながあんぜんに通行できるようにするためのもので、それぞれ、形や絵がらがきめられています。

また、物事を表す形や絵がらを、ひょうしきよりももっとかんたんにしたものが地図に使われる記号です。どれも、ひと目で分かるはっきりとした形をしています。

算数では、+ (足す) - (引く) × (かける) ÷ (わる) などの記号を使っています。式を書いたり計算をしたりするときには、これらの記号を使います。言葉で書き表すより、ずっとべんりです。

これらのひょうしきや記号は、わたしたちにひつようなことをすばやく知らせてくれます。

このように、物事を、形や絵がら、記号で表すと、ひつようなことがひと目で分かるというよさがあります。

わたしたちの生活には、ひつようなことをすばやく知らせてくれる合図やしるしがたくさん使われています。そのために、わたしたちはべんりな生活をおくることができるのです。

身近にあって意外に気づかない合図やしるしに、あらためて目をとめてみましょう。

「合図としるし」より(平成二十七年 度 学校図書)

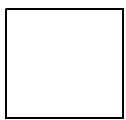
1 線①の「ひょうしきや記号は、わたしたちにひつようなことをすばやく知らせてくれ」ることを、分かりやすく伝えるためのれいとして、筆者が、あげていないものをえらびましょう。

ア 道路ひょうしき

イ ゆうびん番号

ウ 地図に使われる記号

エ 点字ブロック



※次のページにも問題があります。

めあて 登場人物の気持ちの変化を想像しながら、音読しよう。

一 四年生の山田さんの学級では、「こわれた千の楽器」というお話を読んで、音読発表会をすることにしました。次の「こわれた千の楽器」というお話を読んで、あとの問いに答えましょう。

「ああ、もう一度えんそうがしたいなあ。」

ホルンが、すみの方から言いました。

「えんそうがしたい。」

トランペットも横から言いました。

「でも、できないなあ。こんなにこわれてしまっていて、できるはずがないよ。」
やぶれたたいこが言いました。

「いや、できるかもしれない。いやいや、きっとできる。たとえば、こわれた十の楽器で、一つの楽器になるう。十がだめなら十五で、十五がだめなら二十で一つの楽器になるんだ。」

ビオラが言いました。

「それは名案だわ。」

ピッコロが言いました。

「それならばくにもできるかもしれない。」

もっきんがはずんだ声で言いました。

「やろう。」

「やろう。」

バイオリンやコントラバス、オーボエ、フルートなども、立ち上がって言いました。
楽器たちは、それぞれ集まって練習を始めました。

「こわれた千の楽器」野呂 昶 より(平成二十七年 東京書籍)

1 この場面に登場する楽器たちの様子や気持ちとして、もっともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらび、記号を書きましよう。

ア ホルンは、えんそうすることをあきらめている。

イ たいこは、こわれているから、えんそうできないと思っている。

ウ ピッコロは、ビオラが言ったことに反対しようとしている。

エ もっきんは、できれば練習をしたくないと思っている。

※次のページにも問題があります。



めあて 文章の内容を的確に押さえながら読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

① 地球上には、暑くてかわいた砂ばく地帯もあれば、逆に、冬にはマイナス数十度にまで下がり、雪と氷にとざされてしまう所もある。そのような所にも、いろいろな動物たちが、それぞれの環境に適応しながら生きている。

② 動物の体形と気候との間には、おもしろい関係がある。いったんに、寒い地方にすんでいるもののほうが、あたたかい地方にすんでいるものにくらべて、体が丸っこく、耳とか手足とかの体の出っ張り部分が少ないというけい向がみとめられることである。

③ 寒い所で体温を一定にたもっていくためには、体内で生産した熱をできるだけ失わないようにしなければならない。同じ体積の体であっても、体の出っ張り部分が少なく、体形が球に近いほど体の表面積は小さくなる。体の表面積が小さいということは、外気と接する面積が小さいということであり、それだけ外気にうばわれる熱が少なくなる。体が丸っこいのは、寒い地方で生きていくのに、たいへん都合がよいことなのである。

④ 実際に、寒い地方にすむホッキョクギツネは、丸くて小さい耳をしている。耳や手足などの部分は、血管が体の表面近くにあるので、そこから熱がうばわれやすい。だから、耳が小さいことは、熱がうばわれて体温が下がるのを防ぐのに役立つている。

⑤

「動物の体と気候」増井 光子 より(平成二十七年 東京書籍)

※次のページにも問題があります。

めあて 文章の内容を的確に押さえながら読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

森林から太い木をばっさいしたとしても、絶えず新しい芽が出て、順調に生長していたとしたら、森林には常に太い木が存在し、人々のくらしに必要な材木も持続的に供給されたはずである。A、イースター島では、ヤシの木の森林が再生することはなかった。人間とともに島に上陸し、野生化したラットが、ヤシの木の再生をさまたげたらしいのだ。ラットは、人間以外のほ乳動物のいない、すなわち、えさをうばい合う競争相手も天敵もないこの島で、爆発的にはんしよくした。そのラットたちがヤシの実を食べてしまったために、新しい木が芽生えて育つことができなかつたようなのである。

このようにして、三万年もの間自然に保たれてきたヤシ類の森林は、ばっさいという人間による直接の森林破壊と、人間が持ちこんだ外来動物であるラットがもたらした生態系へのえいきょうによって、ポリネシア人たちの上陸後、わずか千二百年ほどで、ほぼ完全に破壊されてしまったのである。

※ラット…大型のネズミ

「イースター島にはなぜ森林がないのか」 鷲谷 いづみ より(平成二十七年度 東京書籍)

1 Aに入る言葉を、次のアからエまでのの中から選びましょう。

- ア また
- イ ところで
- ウ しかし
- エ つまり

A

2 山川さんは、この文章を【事実】【筆者の考え(推測)】【まとめ】に分けてノートにまとめることにしました。B、Cに当てはまる内容を本文中の言葉を使って書きましょう。

【事 実】	<p style="text-align: center;">B</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>イースター島では、ヤシの木の森林が再生することはなかった。</p> </div>
【筆者の考え(推測)】	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>森林から太い木をばっさいしても、絶えず新しい芽が出て、順調に生長したなら、人々のくらしに必要な材木も持続的に供給されたはずだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>野生化したラットが、ヤシの木の再生をさまたげたらしい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ラットたちがヤシの実を食べてしまったために、新しい木が芽生えて育つことができなかったようだ。</p> </div> </div>

※次のページにも問題があります。

【まとめ】ヤシ類の森林は、ほぼ完へきに破壊はかいされてしまった。
（原因①） ばっさいという **C** のため
（原因②） 外来動物であるラットがもたらした生態系けいへのえいきょうのため

【事実】

B

【まとめ】

C

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、三 次の——線部のカタカナを、漢字で
ひらがなで書いてねいに書きましょう。 ていねいに書きましょう。

1 病気の対策たいさくをする。

2 私服しふくを着る。

3 正論せいろんを述べる。

4 深呼吸しんくわいをする。

5 バスの座席ざせきをゆずる。

1 セキニンせきにん感をもつ。

2 数のゾウゲンぞうげんを見る。

3 使用のキョカきョカをもらう。

4 体育のジュンビじゅんぴをする。

5 ヒョウバンひょうばんの店に行く。